

最高裁秘書第2803号

令和2年11月27日

林弘法律事務所

弁護士 山中 理 司 様

最高裁判所事務総長 中 村

慎



司法行政文書開示通知書

10月1日付け（同月5日受付，第020528号）で申出のありました司法行政文書の開示について，下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称等

- (1) 高等裁判所事務局長事務打合せ 進行予定（10月2日）（片面で1枚）
- (2) 高等裁判所事務局長事務打合せ席図（片面で1枚）
- (3) 令和2年10月高等裁判所事務局長事務打合せ結果概要（片面で2枚）

2 開示の実施方法

写しの送付

担当課 秘書課（文書室）電話03（3264）5652（直通）

高等裁判所事務局長事務打合せ 進行予定（１０月２日）

１ 開議（午後１時１５分）

事務総長挨拶

２ 協議（午後１時３０分～午後３時４０分）

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応を契機とした事務の改善について（６０分）
- (2) 部の機能の活性化について（３０分）

■ 休憩（午後３時００分～午後３時１０分）

- (3) 裁判所における中長期的課題について（３０分）

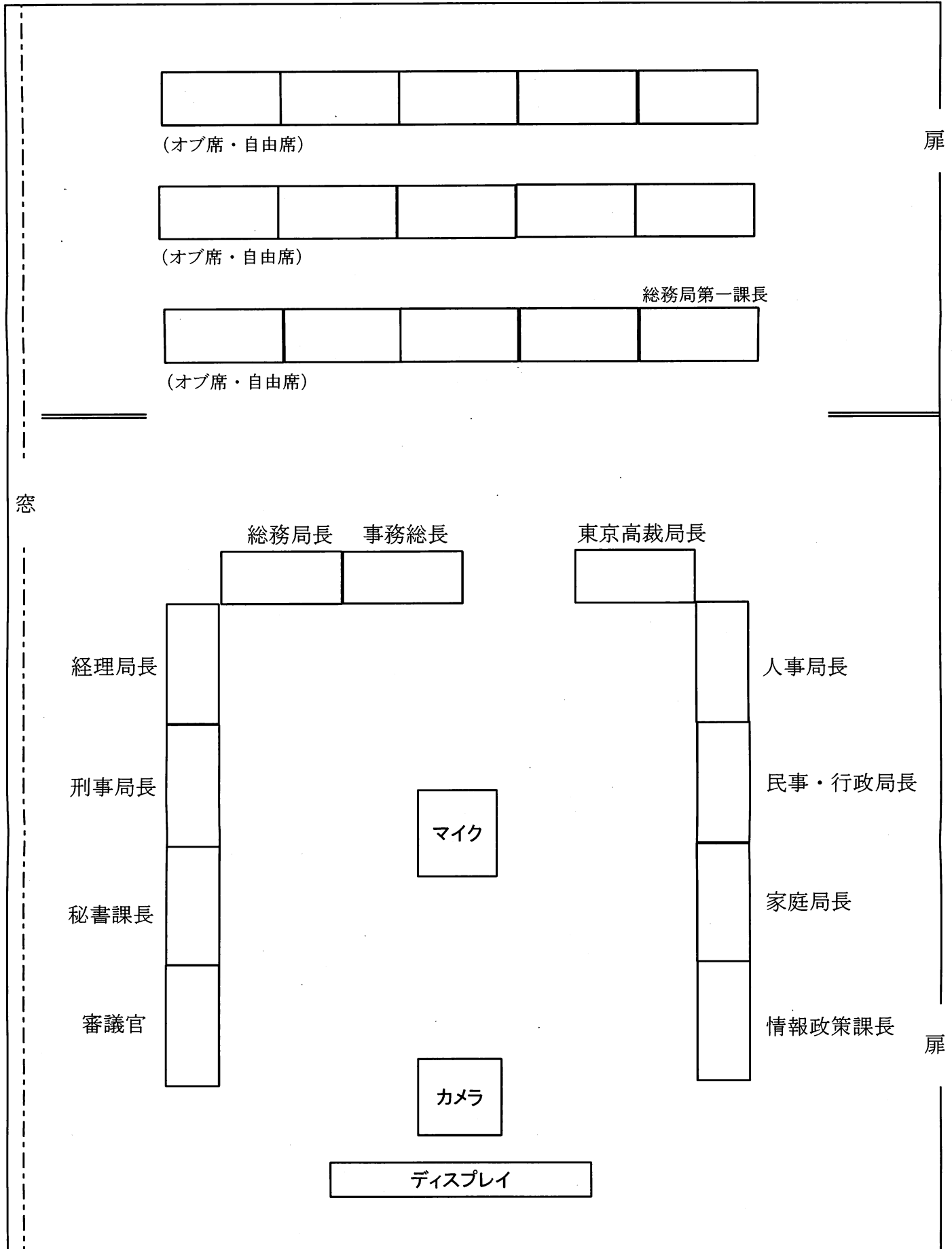
３ フリーディスカッション（午後３時４０分～午後４時１０分）

４ 事務総局からの情報提供（午後４時１０分～午後４時１５分）

高等裁判所事務局長事務打合せ席図

令和2年10月2日（金）

最高裁判所中会議室



司法研修所長，裁判所職員総合研修所長及び司法研修所長代行は司法研修所別館でテレビ会議システムにより参加

令和２年１０月高等裁判所事務局長事務打合せ結果概要

【協議１】

新型コロナウイルス感染症への対応を契機とした事務の改善について

新型コロナウイルス感染症への対応を契機として、各裁判官に様々な課題について部や庁全体として検討する必要があるとの意識が高まっており、このことが他の緊急事態への対応や事件処理に当たっても良い影響を与えているとの意見が出された一方で、現状では裁判運営の在り方自体を見直すような動きにまでは至っていないという意見や、地域によっても状況が異なるとの意見が出された。また、上級庁からの取組の後押しの在り方についても意見交換がされた。

【協議２】

部の機能の活性化について

新型コロナウイルス感染症への対応を契機に、事件処理のみならず人的・物的資源の活用の在り方を含めた司法行政上の課題に関する意識が高まっているとの意見が出され、これを一時的なものとせず、更に部の機能の活性化を図っていくためには、事務局や上級庁から検討の視点を提示する、常置委員会の活性化を図る、部における議論の結果を実感することができるようにするなどの取組が考えられるとの意見が出された。

【協議３】

裁判所における中長期的課題について

より活力のある組織を目指し、事務の合理化・効率化を更に推進していくに当たり、職員各層において幅広く事務の合理化・効率化の提案・実践が行われるようにするための課題や取組等について、意見交換を行った。様々な機会を捉え、具体的状況に即して検討を進める必要性など

が指摘され、裁判所全体で取り組むことの重要性が確認された。

以 上